



大谷中だより

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

夢のある
生き生きとした学校



令和7年7月 4号

〒337-0014 さいたま市見沼区大谷1634-2
TEL 048-685-6982
さわやか相談室(直通) 048-685-8272
ホームページ <https://oya-j.saitama-city.ed.jp>

「水滴石穿 ～全力でやるからこそその思い出～」

ストーリー

校長 加藤 良夫

早いもので、1学期も残りわずかとなりました。先月は、学校行事の中心が運動、スポーツでした。そして、3年生にとっては、「中学校最後」とつくものが、少しずつ始まっています。

さて、大きな学校行事の一つである体育祭は、雨が続き、予定通りの準備等ができませんでしたが、当日は競技を最後まで行うことが出来ました。ご理解、ご協力ありがとうございました。

「水滴石穿（すいてきせきせん）～全力でやるからこそその思い出（ストーリー）」

これは、今年の体育祭のスローガンです。全体練習において、体育委員会から全校生徒にスローガンの思いを伝えました。「水滴石穿とは、水滴も同じ位置に落ち続ければ、いずれ石に穴をあけることができることから、小さな力でも積み重なれば強大な力になること」をいいます。

体育祭は、各種目での勝敗を競う中で、互いに切磋琢磨しながら自分自身を成長させること、また、仲間と一致団結して取り組む素晴らしさを体験できる場です。一人ひとりが自分の出来ることを全力で行い、それを支える仲間がいる。それが様々な面で大きな力や支えになる、そのような皆さんの思いがスローガンからも伝わってきました。そして、今回の体育祭は、このスローガンにあるように思い出深いものになったことと思います。

当日は、雨予報のため、プログラムの変更を行い、閉会式後に小雨となる1日でした。その中で、保護者の皆様に生徒たちの全力で取り組む姿を見ていただきました。保護者の方の来校数が、昨年度以上との報告もあり、学校への期待の大きさを改めて感じました。また、PTAの役員の皆様には、前日の除草作業、当日の散水、受付等でご協力いただきました。お陰様で教職員は、運営、生徒と関わることに集中することが出来ました。ありがとうございました。

学校総合体育大会においては、初日から雨天による順延となりましたが、コンディションを維持しながら、どの部も今までの練習の成果を発揮できたことと思います。3年生は、最後の大会に臨むにあたり、それぞれの思いもあったかと思います。過去の試合でのリベンジを果たした試合、試合後のミーティングで、3年生と1、2年生の間で御礼や感謝を述べる等、それぞれの部にドラマがあったと聞いています。団体戦については、全ての部の試合を観ることが出来ました。接戦が多く、応援している保護者、選手等にも緊張感が感じられるものばかりでした。その中でも、女子剣道部、男子バレーボール部が優勝したことは、他の生徒の励みにもなる大きな成果と言えます。

勝敗だけではなく、活動を通して様々なことを学べるのが、学校であると改めて感じました。朝早くから、引率、応援等をいただきました保護者、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

夏季休業中においては、本校の生徒は、学校で過ごす時間よりも保護者、地域の皆様と関わる時間が多くなります。引き続き温かく見守っていただけますようよろしくお願いいたします。